

目次

		解説	ワーク
①記憶	1 位置・模様の記憶	3	24
	模様カード1		25
	模様カード2		26
	2 文・数の記憶	3	27
②言語	3 品物の記憶1	4	28
	4 品物の記憶2	4	29
	1 しりとり	4	30
	2 ことば作り1	5	31
③推理	3 ことば作り2	5	32
	4 話の聞きとり	6	33
	5 短文の聞きとり	6	34
	6 話づくり1	7	35
	7 話づくり2	7	36
	1 類推	8	37
	2 関係把握1	8	38
3 関係把握2	9	39	
④構成	4 時間的経過の推理	9	40
	5 系列	10	41
	6 条件推理1	10	42
	7 条件推理2	10	43

		解説	ワーク
④構成	1 三角プレート構成	11	44
	三角プレート		45
	2 図形合成・プレート構成	12	46
	3 マッチ棒構成	12	47
	パズル構成カード		48
	4 パズル構成	12	49
⑤数量	5 丸・真四角の合成1	13	50
	6 丸・真四角の合成2	13	51
	1 計数	14	52
	2 加算	15	53
	3 多少判断1	15	54
	4 対応1	16	55
⑥知覚	5 対応2	16	56
	6 多少判断2	16	57
	7 多少判断3	17	58
	1 位置1	17	59
	2 位置2	18	60
	3 点図形1	18	61
	4 点図形2	18	62
5 異同弁別	19	63	
6 類同弁別	19	64	

		解説	ワーク
⑦知識	1 しごと1	20	65
	2 しごと2	20	66
	3 昔話1	20	67
	昔話カード		68
	4 昔話2	21	69
	5 季節・夏と冬1	21	70
⑧絵画制作	6 季節・夏と冬2	21	71
	1 ぬり絵	22	72
	2 立つ動物	23	73
	3 お話の絵	23	74



2 言 語

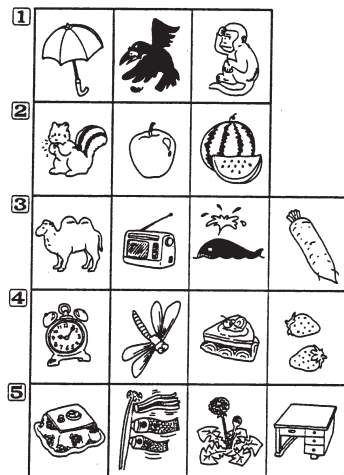
(2) ことば作り (1)

① 問題のやり方 用意するもの：ハサミ、のり P. 31

切り取り線の右のカードをハサミで切りましょう。

残った左の絵の名前を、切り取ったカードの一番上の音を取って作りましょう。

② 解答



③ 注意 次の「ことば作り(2)」も同じですが、ことば作りは、同頭語や同尾語を少しずつ発展させて考えながら作っていくものです。

一見難しそうですが、問題の意味がしっかり把握できれば、子どもは楽しんでやるものです。問題の意味がわかるまで、しっかりと説明してあげてください。

(3) ことば作り (2)

① 問題のやり方 用意するもの：クレヨン P. 32

① 左側の上3問

左の絵の名前を、右の絵の一番上の音を取って作りましょう。

わかったらクレヨンで○をつけましょう。

② 右側の上3問

左の絵の名前を、右の絵の一番下の音を取って作りましょう。

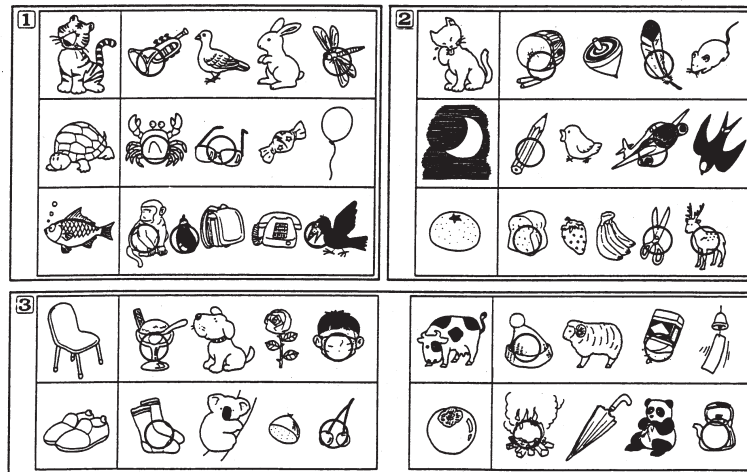
わかったらクレヨンで○をつけましょう。

③ 太線の下4問

左の絵の名前を、右の絵の上から二番目の音を取って作りましょう。

わかったらクレヨンで○をつけましょう。

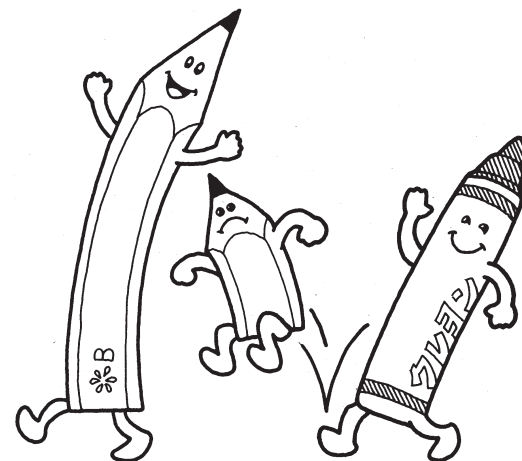
② 解答



③ 注意 ウシの問題は解答が二通りあります。

入学試験では



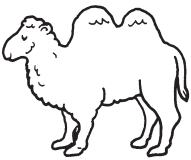


しりとりや言葉集めのように語彙力に関する問題は、国立・私立を問わず、非常に出题頻度の高い問題です。プリントによる出題が多いのですが、個別形式で反対語を答えさせたり、小集団のゲーム形式でしりとりなどをさせたりすることもあります。また、日頃から『おつくえ』『おままごと』というふうの名前に『お』をつけて言っていると、曖昧に覚えていることがありますので、正しい名称をきちんと言えるか確認しておきましょう。



2

言語

ことば作り 1

1			
2			
3			
4			
5			

カード (切りとって使います)

